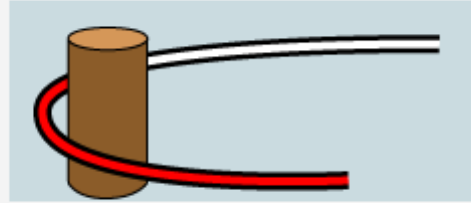


## 基本

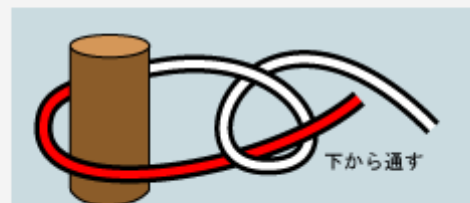
まず、結びつけるモノ(例えば木)にグルリとロープをまわします。



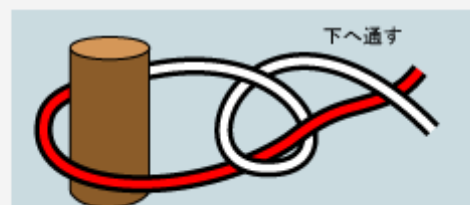
長い側にひねりを入れて小さな輪を作ります。この時モノの側のロープが上に出る形にします。



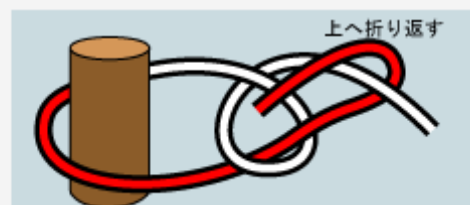
モノをまわしたロープを、輪の下側から通します。



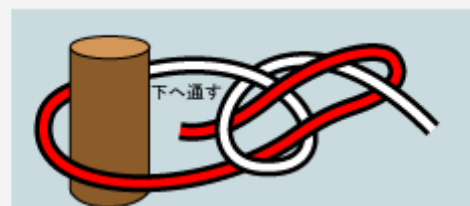
長い側のロープの下側へ通します。



上へ折り返します。



輪に上から通します。



ロープの両側を絞ります。



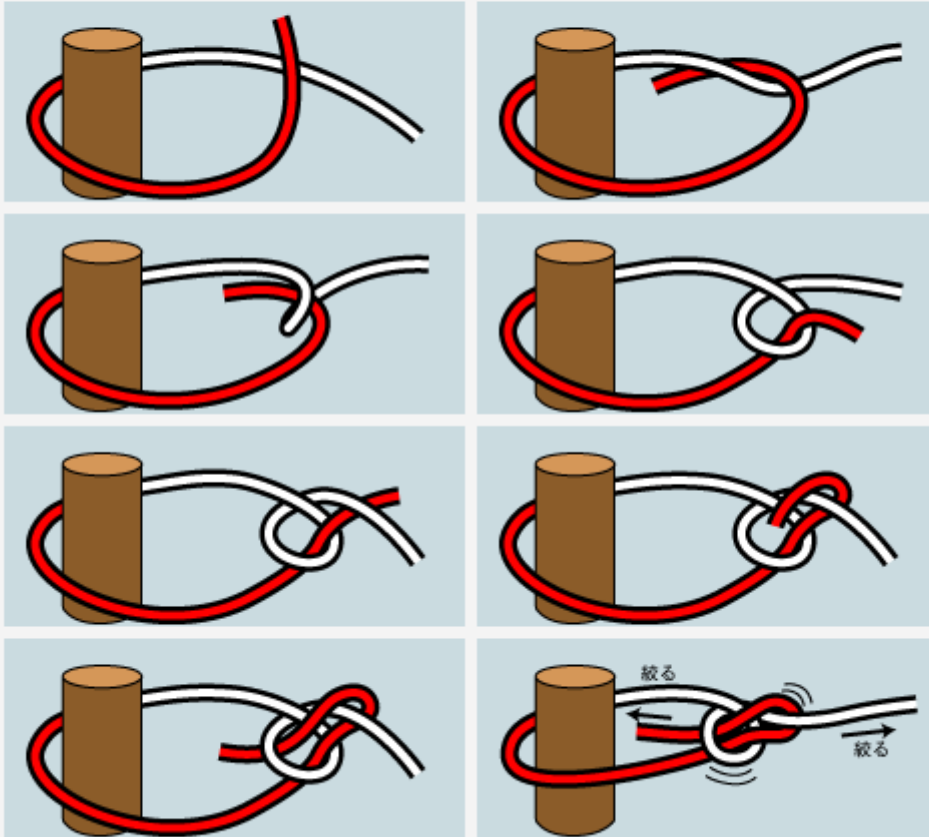
もやい結びは出来上がった輪が縮むことなく安定します。

ここでは、木に結ぶ感じで説明しましたが、もちろん単にロープの先に 安定した輪を作ることも出来ます。

## 慣れてきたら

慣れて、ロープの空間配置がしっかりイメージできるようになったら、最初の輪っかを作る作業と輪っかにロープを下から通す作業を一気に 行う方法がとれます。

端のロープをまず **上から** 十字に重ね、輪を作る時に輪の中に絡めるようにします。後はこれまで通りです。



このやり方は繰り返し練習すれば手に覚えさせることができます。(ただし 最初のやり方でのロープの重なりイメージはしっかりと保ってください)